

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

回答率65%(22人/34人)

満足度100%(33人/33人)

公表日: 令和6年3月1日

事業所名:リハビリ発達支援ルームUTキッズ香芝

サービス種類:児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	その時の療育に必要な遊具・玩具のみ療育室に置くようにし、安全に体を動かせるスペースが広がるような環境作りを心掛けています。	はい 21人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・体をたくさん動かすことができるスペースだと思います。 ・人数もしっかり管理されていて、無理なくのびのびと活動させてもらっています。 ・ものすごく広いスペースではないけれど、効率的に活動できるように工夫されていると思います。 ⇒のびのびと体を動かせるスペースを確保できるように、環境や遊具配置の工夫に努めていきます。
	2 職員の適切な配置	職員配置の基準に基づいて行っています。それぞれの職種の専門性を生かし、話し合いやケース会議を行いながら情報共有をしています。	はい 21人	どちらとも言えない 0人	いいえ 1人	わからない 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな先生がいらして、みなさんで情報共有して下さり、細かくみて下さり安心感があります。 ・いろいろな先生にみてもらい、娘にいろんなアプローチをしてもらっています。子育ての悩みにも寄り添ってもらえ、相談にのってもらっています。 ・担当制ではないけれど、情報共有がしっかりなされていると感じるので、不安に感じる事はありません。 ⇒引き続き安心してご利用して頂けるよう心掛けていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	手洗い場に、手洗い・うがいの手順を貼ったり、待合室と療育室の壁紙を変える等、活動場所のわかりやすさに繋がるように配慮しています。また、危険な箇所には、滑り止めやクッションシートを使用しています。	はい 20人	どちらとも言えない 2人	いいえ 0人	わからない 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に寄り添って頂いています。 ・入口に段差あり。 ・動線がシンプルなので、娘も戸惑いなく活動しやすくなっています。 ⇒施設の構造上段差をなくす事はできませんが、出入り口の段差対策を検討していきたいと思ます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	定期的に掃除、大掃除をしています。使用後に遊具・玩具・ドア・手すりなどの消毒に努めています。	はい 21人	どちらとも言えない 0人	いいえ 1人	わからない 0人	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な道具や遊び道具があり、良い空間になっていると思います。 ・水回りもきれいに保たれていて気持ちよく使わせてもらっています。石鹸や消毒、検温なども継続され安心してきます。 ⇒引き続き環境整備を心掛けていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務改善の策定は、ミーティングを通して決定しています。児や保護者様への最良の支援が提供できるよう、各指導員が積極的に意見交換をしています。	/				
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在外部評価委託は行っていませんが、関係機関との情報共有を積極的に行うことで多角的な視点での業務となるよう心がけています。	/				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	本部からの指導員派遣や内部での支援検討会、外部への研修参加を積極的に行っています。					
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年毎に個別支援計画書を作成しています。 保護者様からの聞き取りやモニタリング前のアンケートの内容と、療育の様子を照らし合わせ、指導員で話し合いながら個別支援計画書案を作成しています。案を基に保護者様とモニタリングを行い、話し合いながら個々のお子さんに合わせた計画書作りを心掛けています。	はい 22人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	・丁寧に話を聞いて下さり、それに繋がる計画を作成して頂いています。 ・今の課題を一緒に考えて頂き、無理なくクリアさせてもらっている事で我が子だけでなく、親も肯定感を味わっています。 ⇒引き続き、お子さんの様子を保護者様と共有しながら個別支援計画書作成に努めています。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別や集団等の方法論に縛られず、個々に必要な支援を個別支援計画書に記載しています。					
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児・保護者様のニーズに寄り添い、現状・支援内容や有効な遊び活動、目標を記載しています。	はい 21人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	・子どもの必要な内容にして頂いています。 ・今はこの課題に向けてこういう動き、活動を取り入れているという事を説明してもらっています。 ⇒モニタリングやケース会議を通して、お子さんの様子に添った支援内容や目標になるよう努めています。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書に沿った支援を実施していますが、児の変化に合わせて、計画に縛られず必要な支援に繋がるよう努めています。	はい 21人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	・して頂いています。 ⇒適切な支援が提供できるよう努めています。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	アセスメントや支援内容は、指導員同士で積極的に意見交換をしたうえで立案しています。また、その内容をチーム全体で共通理解できるように記録を残すようにしています。					
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日にとられず「困り感」の軽減に向けた支援を行っています。また、長期休み前後は心身状態を確認し、状態に応じた支援を調整しています。長期休暇時はイベントを開催し、普段では得られない感覚運動体験と家族との余暇の充実を目的とした支援を行っています。					
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	前回の療育の様子を指導員間で共有しながら、児の状態に合わせて活動内容を考え実施するよう努めています。	はい 22人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	・色々な工夫をして頂いていると思います。 ⇒お子さんが楽しんで取り組める活動内容を工夫していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	各指導員が支援内容を確認しています。並行の児がいる場合は、互いに配慮すべき点を支援前に確認しています。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容					
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	通所の無い空き時間を利用して、担当児に対する振り返りや意見交換を随時行っています。また管理者兼児童発達支援管理責任者へ支援の進行状況や相談を随時あげています。										
	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録は、事実と考察を分けたくうえで記載することで支援内容の検証・改善ができるようにしています。また、担当外の指導員が過去の記録を参照して客観的な意見を出せるようにしています。										
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	療育終了後のフィードバック毎に、生活のモニタリングを行っています。またモニタリング内容に対し、支援内容が合うように随時見直しをしています。										
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援員からの現状の確認や今後の方針を、電話または来所される時に児童発達支援管理責任者や担当指導員が対応しています。										
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は、医療的ケアが必要な方のご利用はございませんが、ご利用があった際には、保育や教育と連携した支援を進めていく予定です。										
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	児の主治医の連絡先や協力医療機関の情報を共有し緊急時の対応に備えています。また保護者同席の通所に限定することで、速やかに適切な対応が行えるようにしています。										
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様や園・学校からの要望をもとに情報共有や多角的な視点のもと連携を行っています。										
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在、必要な方のご利用はございませんが、必要となった際には、十分な情報提供や連携を図れるように対応します。										
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修補助制度による受講の促進を行っています。										
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在実施していません。						はい 8人	どちらとも言えない 7人	いいえ 7人	わからない 0人	・未就学児の参加ができる機会があります。自ら探さないといけないので少し困りました。 ⇒地域イベントのご案内の貼り出しや、ニーズに応じて、地域の習い事の紹介などを行っていますので、お気軽にスタッフにお声かけ下さい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在行っていません。										

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始前に利用者負担等の説明を行っています。また、不明なことがあれば随時確認していただいて良いことをお伝えしています。	はい 22人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	・とても丁寧に説明して頂きました。 ⇒ご理解して頂きやすい説明ができるよう努めていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書の更新時に、モニタリングを行い計画書案を保護者様に提示しながら、支援内容の説明を行っています。	はい 22人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	・とても丁寧に話して頂きました。 ⇒お子さんの様子に合わせた個別支援計画書を作成し、ご理解して頂きやすい説明に努めています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在ペアレント・トレーニングの実施はしていませんが、保護者様とお話する中で、お家などで取り組める支援方法をお伝えできるよう心掛けています。	はい 14人	どちらとも言えない 8人	いいえ 0人	わからない 0人	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育のフィードバック時や、定期的なモニタリングの中で保護者様と話し合い、児の発達の状況や課題について共通理解が深まるよう努めています。	はい 22人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	同上	はい 21人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、父母の会や保護者会は行っていません。	はい 5人	どちらとも言えない 11人	いいえ 6人	わからない 0人	・支援されてはいるが希望もしていない。 ・まだ参加したことがないのでなんとも言えない。 ⇒機会がある際は、提示させていただきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご利用前「重要事項説明書」にて苦情窓口の説明をしています。ご意見やご相談があった際は、迅速に対応できるよう心掛けています。	はい 12人	どちらとも言えない 10人	いいえ 0人	わからない 0人	・苦情をいれた事がないのでわかりません。 ⇒安心してご利用して頂けるよう心掛けていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援グッズやジェスチャー、触れ合い等、児の特性や状況に合わせた方法で、意思の疎通が図りやすくなるよう心掛けています。保護者様への情報伝達については、お知らせの貼り出しや手紙配布、電話連絡等を行い漏れがないよう心掛けています。	はい 21人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	イベント等の活動概要を、Instagramや事業所内に貼り紙をして情報の共有を行っています。また、必要に応じてお手紙でお渡ししています。	はい 17人	どちらとも言えない 5人	いいえ 0人	わからない 0人	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	「個人情報使用同意書」「撮影同意書」に則って、厳重に管理しています。	はい 21人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	
1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定しています。避難経路や避難訓練実施の貼り出しを行っています。	はい 21人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年3回避難訓練(防災・火災・地震)を職員で実施しています。	はい 17人	どちらとも言えない 4人	いいえ 1人	わからない 0人	・わからない ⇒訓練実施後、待合室に実施内容報告書を掲示しています。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	従業者に対する虐待防止を啓発・普及するための研修を実施しています。	/				
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明しています。現在は、毎日身体拘束の有無について確認する時間を設けており、身体拘束はありません。やむを得ない状況が発生した場合には、個別支援計画書への反映や記録、十分な説明等を行っていきます。	/				
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はないため、実施していません。イベントで飲食が発生する場合は、保護者様にアレルギーの確認を行った上、飲食に同意頂ける方のみ参加していただいています。	/				
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	週1回のミーティング時にヒヤリハットの共有・対応策の検討を行っています。また安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。	/				
	満足度	1 子供は通所を楽しみにしているか	児の興味関心を取り入れながら療育プログラムの組み立てや、療育グッズの作成を行っています。楽しい療育が届けられるように努めています。	はい 22人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人
2 事業所の支援に満足しているか		全ての指導員が児と関わり、多角的視点を持ち、指導員間で児の様子を共有しながら支援方法を考えられています。また、支援目標に加え、児の「やりたい」「できた」「楽しい」と感じて頂ける療育を届けられるよう心掛けています。	はい 22人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	・子育てにおける悩みなども親身になって聞いて下さったり、子どもに対する対応も丁寧でとても満足しています。いつもありがとうございます。 ⇒安心してご利用して頂けるよう努めていきます。ご相談などあれば、お気軽に職員にお声掛け下さい。

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

回答率38%(17人/45人)

満足度100%(33人/33人)

公表日: 令和6年3月1日

事業所名:リハビリ発達支援ルームUTキッズ香芝

サービス種類:放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	その時の療育に必要な遊具・玩具のみ療育室に置くようにし、安全に体を動かせるスペースが広がるような環境作りを心掛けています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
	2 職員の適切な配置	職員配置の基準に基づいて行っています。それぞれの職種の専門性を生かし、話し合いやケース会議を行いながら情報共有をしています。	はい 15人	どちらとも言えない 2人	いいえ 0人	わからない 0人	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	手洗い場に、手洗い・うがいの手順を貼ったり、待合室と療育室の壁紙を変える等、活動場所のわかりやすさに繋がるように配慮しています。また、危険な箇所には、滑り止めやクッションシートを使用しています。	はい 14人	どちらとも言えない 3人	いいえ 0人	わからない 0人	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	定期的に掃除、大掃除をしています。使用後に遊具・玩具・ドア・手すりなどの消毒に努めています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	いつもきれいに清掃されていると思います。 ⇒心地よく過ごして頂けるよう努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務改善の策定は、ミーティングを通して決定しています。児や保護者様への最良の支援が提供できるよう、各指導員が積極的に意見交換をしています。	/				
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在外部評価委託は行っていませんが、関係機関との情報共有を積極的に行うことで多角的な視点での業務となるよう心がけています。	/				
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	本部からの指導員派遣や内部での支援検討会、外部への研修参加を積極的に行っています。	/				
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年毎に個別支援計画書を作成しています。保護者様からの聞き取りやモニタリング前のアンケートの内容と、療育の様子を照らし合わせ、指導員で話し合いながら個別支援計画書案を作成しています。案を基に保護者様とモニタリングを行い、話し合いながら個々のお子さんに合わせた計画書作りを心掛けています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別や集団等の方法論に縛られず、個々に必要な支援を個別支援計画書に記載しています。	/				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	児・保護者様のニーズに寄り添い、現状・支援内容や有効な遊び活動、目標を記載しています。	はい 16人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	
4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書に沿った支援を実施していますが、児の変化に合わせて、計画に縛られず必要な支援に繋がるよう努めています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
5	チーム全体での活動プログラムの立案	アセスメントや支援内容は、指導員同士で積極的に意見交換をしたうえで立案しています。また、その内容をチーム全体で共通理解できるように記録を残すようにしています。	/				
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日にとられず「困り感」の軽減に向けた支援を行っています。また、長期休み前後は心身状態を確認し、状態に応じた支援を調整しています。長期休暇時はイベントを開催し、普段では得られない感覚運動体験と家族との余暇の充実を目的とした支援を行っています。	/				
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	前回の療育の様子を指導員間で共有しながら、児の状態に合わせて活動内容を考え実施するよう努めています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	・プログラムは色々用意されているが、子どもの「これがしたい」にも臨機応変に対応してもらっている。 ⇒お子さんの気持ちに寄り添いながら内容を工夫し、活動に取り組んで頂けるよう支援を行っていきます。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	各指導員が支援内容を確認しています。並行の児がいる場合は、互いに配慮すべき点を支援前に確認しています。	/				
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	通所の無い空き時間を利用して、担当児に対する振り返りや意見交換を随時行っています。また管理者兼児童発達支援管理責任者へ支援の進行状況や相談を随時あげています。	/				
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録は、事実と考察を分けたうえで記載することで支援内容の検証・改善ができるようにしています。また、担当外の指導員が過去の記録を参照して客観的な意見を出せるようにしています。	/				
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	療育終了後のフィードバック毎に、生活のモニタリングを行っています。またモニタリング内容に対し、支援内容が合うように随時見直しをしています。	/				
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援員からの現状の確認や今後の方針を、電話または来所される時に児童発達支援管理責任者や担当指導員が対応しています。	/				

適切な支援の提供（続き）

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は、医療的ケアが必要な方のご利用はございませんが、ご利用があった際には、保育や教育と連携した支援を進めていく予定です。					
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	児の主治医の連絡先や協力医療機関の情報を共有し緊急時の対応に備えています。また保護者同席の通所に限定することで、速やかに適切な対応が行えるようにしています。					
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様や園・学校からの要望をもとに情報共有や多角的な視点のもと連携を行っています。					
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在、必要な方のご利用はございませんが、必要となった際には、十分な情報提供や連携を図れるように対応します。					
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修補助制度による受講の促進を行っています。					
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在実施していません。 普通級で過ごしやすくするための支援方法などの提案や、地域イベントのご案内の貼り出し、ニーズに応じて地域の習い事の紹介などをしています。					
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在行っていません。					
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始前に利用者負担等の説明を行っています。また、不明なことがあれば随時確認していただいて良いことをお伝えしています。					
保護者	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書の更新時に、モニタリングを行い計画書を保護者様に提示しながら、支援内容の説明を行っています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	現在ペアレント・トレーニングの実施はしていませんが、保護者様とお話しする中で、お家などで取り組める支援方法をお伝えできるよう心掛けています。	はい 5人	どちらとも言えない 8人	いいえ 4人	わからない 0人	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育のフィードバック時や、定期的なモニタリングの中で保護者様と話し合い、児の発達の状況や課題について共通理解が深まるよう努めています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
への説明責任・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	同上	はい 15人	どちらとも言えない 1人	いいえ 1人	わからない 0人	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、父母の会や保護者会は行っていません。	はい 3人	どちらとも言えない 7人	いいえ 7人	わからない 0人	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご利用前「重要事項説明書」にて苦情窓口の説明をしています。ご意見やご相談があった際は、迅速に対応できるよう心掛けています。	はい 12人	どちらとも言えない 5人	いいえ 0人	わからない 0人	・駐車場を使わずに、すぐ前に駐車している車がいるので注意してほしい。 ・苦情が特にはありません。 ⇒駐車場利用の際のお願いについて、内容の再確認をし、掲示物や口頭で再度お伝えしていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援グッズやジェスチャー、触れ合い等、児の特性や状況に合わせた方法で、意思の疎通が図りやすくなるよう心掛けています。保護者様への情報伝達については、お知らせの貼り出しや手紙配布、電話連絡等を行い漏れがないよう心掛けています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	イベント等の活動概要を、Instagramや事業所内に貼り紙をして情報の共有を行っています。また、必要に応じてお手紙でお渡ししています。	はい 14人	どちらとも言えない 3人	いいえ 0人	わからない 0人	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	「個人情報使用同意書」「撮影同意書」に則って、厳重に管理しています。	はい 17人	どちらとも言えない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定しています。避難経路や避難訓練実施の貼り出しを行っています。	はい 16人	どちらとも言えない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年3回避難訓練(防災・火災・地震)を職員で実施しています。	はい 15人	どちらとも言えない 1人	いいえ 1人	わからない 0人	
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	従業者に対する虐待防止を啓発・普及するための研修を実施しています。					
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明しています。現在は、毎日身体拘束の有無について確認する時間を設けており、身体拘束はありません。やむを得ない状況が発生した場合には、個別支援計画書への反映や記録、十分な説明等を行っています。					

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はないため、実施していません。イベントで飲食が発生する場合は、保護者様にアレルギーの確認を行った上、飲食に同意頂ける方のみ参加していただいています。		
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	週1回のミーティング時にヒヤリハットの共有・対応策の検討を行っています。また安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データ化しています。		